



平成 25 年 12 月 4 日

オーストラリア漁業会社への出資に関するお知らせ

(株)マルハニチロホールディングス(以下、当社)の100%子会社である(株)マルハニチロ水産は、今般、オーストラリアの漁業会社 Austral Fisheries Pty Ltd. (以下、AF 社)の筆頭株主である Pescanova S.A. (以下、PN 社)をはじめとする PN 社グループの保有する AF 社の株式 50.0%を取得いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 背景

当社は、平成 23 年 10 月 31 日に公表しました通り、現在の中期三カ年経営計画「ダブルウェーブネクスト(2011-2013)」の期間を、グローバルな展開を志向してさらに飛躍する次期中期三カ年(2014-2016)に向けての基礎固めの期間と位置付けております。更に、その経営計画の基本方針の1つに「海外市場における基盤拡大」を掲げ、水産事業においては新たな資源アクセスの更なる強化を重要な事業施策として謳っております。

しかしながら、世界の漁業生産は過去10年以上9千万トン程(国連食糧農業機関(FAO))で頭打ちとなっている一方、世界の一人当たり年間の水産物消費量は同じ期間で2割以上増え、人口は10億人以上(18%)増加し、結果として、水産資源の確保は国家間で熾烈な競争を招いています。

また、世界的に水産物需要が高まるにつれ、資源の持続性も問題となってきています。国家単位、あるいは国際的な組織単位で厳格に資源管理がなされているものがある反面、世界的に見ると、違法操業の横行や、そもそも規制すらないエリアが少なからず存在します。同時に、世界市場においては、資源の持続性に配慮された水産物を高く評価し差別化する流れともなっております。したがって、資源アクセスの確保は、持続性に配慮した十分な漁獲管理がなされているものを対象としていく必要があります。

今回当社グループに入る AF 社が許可されているメロ漁業海域は、乱獲や違法操業による資源の減少を危惧するオーストラリア政府と「南極の海洋生物資源の保存に関する委員会(CCAMLR)」によって厳格に管理されている海域であり、持続可能な漁業として国際認証も取得しています。また、同様に生産品目の4割弱を占めるエビ類の漁業も、同じ国際認証を取得しています。



2. 出資理由

AF 社は、上述のとおり厳格な漁業資源管理のもと持続可能な漁業を継続し、オーストラリアの排他的経済水域(EEZ)におけるメロ、コオリカマスの 7 割強の漁獲枠など白身魚の漁業権を保有すると共に、オーストラリア北部でのえび漁業や、インド洋での漁業を展開しております。

マルハニチログループが、既に他海域に持つメロ漁業権に AF 社の漁業権を加えることで、世界のメロ漁業権の 1 割強を獲得することとなり、当社グループが重要戦略と位置付ける資源アクセスの強化を図るため AF 社への出資に至りました。

また、AF 社は従来当社の 100%子会社である(株)マルハニチロ水産の、主にキンメダイ、エビの仕入先であります。今後のシナジーとしては、日本向けとして当社グループでの仕入実績の無かった商材の取引開始、当社のネットワークを利用した AF 社商材の世界販売、そして、当社グループからの豪州向け販売拠点としての活用など、様々なものが期待されます。

3. Austral Fisheries Pty Ltd.の概要

- ① 社名 : Austral Fisheries Pty Ltd.
- ② 主な事業 : 漁獲・加工事業、魚介類の輸入販売
- ③ 設立 : 1981 年
- ④ 本社所在地 : オーストラリア パース市
- ⑤ 代表者 : 取締役会長 G T Kailis
- ⑥ 資本金 : 31,035 千豪州ドル
- ⑦ 株主 : Kailis Group 50% Maruha Nichiro Seafoods Inc 50% (今次取得後)
- ⑧ 売上高 : 64,860 千豪州ドル (2012 年)
- ⑨ 事業内容 : 豪州 EEZ 内におけるメロ、コオリカマス等の漁獲・加工。
豪州北部海域におけるエビの漁獲・加工、およびインド洋におけるキンメダイの漁獲・加工。メロ、エビ、カニ、サーモン、ホタテ、タコ等の魚介類の輸入販売。
- ⑩ 保有船舶 : 底延縄船 2 隻、トロール船 1 隻、エビ船 10 隻。
- ⑪ 販売商品 : メロ、コオリカマス、エビ、サーモン、カニ、ロブスター、ホタテ、キンメダイ

以上

お問い合わせ先

株式会社マルハニチロホールディングス

広報 IR 部

Tel 03-6833-0826 Fax 03-6833-0506
